

豊作の願いを込めて 霜神社で「火焚き神事」

霜による被害から農作物を守るための神事「火焚き神事」が8月19日、霜神社で始まりました。この神事は、国指定重要無形民俗文化財「阿蘇の農耕祭事」の一つで2500年を超える歴史を持つ伝統ある神事です。

慈さんは「初めてのことで緊張しています」。介添えを務める英子さんは、「昨年は災害がありましたので、まちは全体が栄えて良い年になるように神様にお祈りしたい」と話していました。



火焚き小屋で、火を見守る慈さん（左）と英子さん

学業の特性を生かした避難所支援

熊工インテリア科が木製仕切り寄贈

住民に組み立て方法などを説明する生徒



熊本工業高校インテリア科の生徒7人が、避難所で使用する木製のパーティション（仕切り）を製作、8月6日、仮設住宅の住民を招いて一の宮体育館で贈呈式と組み立ての実演を行いました。

生徒たちは、学業の特性を生かして役に立ちたいと、仮設住宅で生活する住民に対し、「避難所での生活でどのような家具が必要だったか」などアンケート調査を実施。回収した結果をもとに、さまざまな用途として活用できるパーティション16台を約3か月かけて製作しました。

このパーティションは、①仕切り②ベッド③収納④イスの4役を自由に組み合わせることで、工具を使わずに組み立てが可能です。また、子どもが遊ぶスペースとしても想定されており、仕切り板には阿蘇の神話にまつわる物語とイラストが描かれています。

同校の田中敬三教諭は「企業や自治体に参考にしてもらい、実用化できれば嬉しいです」と話していました。

実演を見学した市民は「アイデアが満載で素晴らしい」と生徒を労っていました。阿蘇の神話が描かれた仕切り版は、一の宮体育館に展示されていますので、ぜひご覧ください。

（一の宮中出身） 熊工の岩下優也さんが 甲子園に出場！



第95回全国高校野球選手権大会が、8月8日から兵庫県神戸市の子園球場で行われ、熊本県代表として熊本工業高校が出場。

一の宮中出身の岩下優也さん（3年）は、1回戦鳥取城北高校戦に途中出場し、勝利に貢献。2試合目は代打で出場し、善戦しましたが惜しくも敗れました。

子ども目線で「市政に問う」

阿蘇市の未来を描く、阿蘇市子ども議会

子ども目線での率直な意見を市政に生かそうと8月12日、阿蘇市子ども議会が行われ、市内の3中学校から17人が議員となり議会に臨みました。これは、阿蘇市青少年健全育成市民会議（阿部武夫会長）主催による初めての試みです。

「はい、議長」と手を挙げて一般質問に臨む市原朱沙さん（波野中）



パネルを使用し、通学路の安全確保について質問する白石日香里さん（左）と梅木麻衣さん（一の宮中）

一般質問形式で行われた議会では、防災対策やいじめ問題、観光振興など多岐にわたる質問がなされ、市執行部に答弁を求めました。

波野中3年の山口優花さんは波野地域の少子高齢化に言及し「神楽や美しい草原の維持ができなくなるのが心配。コミュニティの維持のために住宅地を造成してほしい」と質問。それに対し、市から「地域外からの移住のためには、働く

場所を確保することが必要。阿蘇の立地条件を活かした企業誘致、雇用需要を高めていくことが重要だ」と答弁しました。

最後に、阿蘇市議会の阿南誠蔵議長が「それぞれの中学校の目線で我々社会人がドキッとするような質問があり、本当に立派な議会だった。議会広報などを見ていただき更に阿蘇市の実態を知ってもらえれば」と講評を述べました。

夏休みにしっかり勉強！ 阿蘇中央高校で「阿蘇谷寺子屋」



家庭用洗剤と洗濯のりを混ぜ合わせ、割れない風船を作る実験に取り組む子どもたち

阿蘇中央高校で8月8日、熊本大学生と阿蘇市内の小・中・高校生を交えた「阿蘇谷寺子屋」が行われました。これは、学生間の交流を通して勉強意欲や学習意識の向上を図ろうと、熊本大学が主催するもので、熊本大学理学部の学生4人を含む約40人が参加しました。

午後からは、風船や造花を液体窒素に付ける実験や、割れにくいシャボン玉を使った実験を行い、参加した子どもたちは、普段授業では習うことができない実験など、楽しみながら学んでいました。子どもたちからは「分かりやすく勉強を教えてもらった」「風船の実験が楽しかった」などの声が聞かれました。

世界大会で金メダル 岩本幸奈さん

市長に優勝を報告

「ワールドゲームズ2013カリ大会（第9回大会）」相撲競技軽量級で優勝した岩本幸奈さん（日本大学、阿蘇北中出身）が8月19日、阿蘇市役所を訪れ佐藤市長に試合結果を報告しました。

同大会は「第2のオリンピック」ともいわれ、国際的トップアスリートによる総合競技大会で4年

佐藤市長と握手を交わす岩本さん（左）



に一度開催。今大会の相撲競技は7月26日から2日間、コロンビア共和国・カリ市で開催され、軽量級には世界12ヶ国の代表選手16人が出場し熱戦を展開。

岩本さんは、決勝戦でブラジルのモンゴメリワタナベルシアナ選手と対決し、切り返して見事優勝、金メダルを手に入れました。

岩本さんは「海外の選手とは体格差があつて厳しかった。特にヨーロッパ勢が手強かったが、3年ぶりの世界大会で優勝できてうれしい。」と話していました。

また、岩本さんは10月にロシアで開催される「コンバットゲーム」にも出場が決定しており、大会での活躍が期待されます。

バスケット女子日本代表 内海ヘッドコーチが講習会

バスケットボール女子日本代表内海知秀ヘッドコーチの指導者講習会が8月9日、市内ホテルで開催されました。

阿蘇郡市バスケットボール協会（藤林満也理事長）が阿蘇火の山バスケットボール高校錬成大会（8月9日～11日）に合わせ企画。同大会出場の九州各県のチームや地元小中学校の監督、指導者ら40人が参加しました。

内海氏は、ジャパンエナジーの前身である日本鉱業でプレイヤーとして活躍したあと、札幌大、JX（旧JOMO）サンフラワーズのヘッドコーチを歴任。現在2度目の女子日本代表ヘッドコーチに就任しています。



講習会では、プレイヤーの心構え、指導者の役割などこれまでの指導経験をともに講話。参加者からの質問にビデオで実例を交えながら、現在、全日本で取り入れている技術を熱心に指導しました。

スポーツ大会、各所で熱戦



ゲートをめがけてボールを打つ参加者

大阿蘇火の山まつりに合わせ、各所でスポーツ競技が行われ熱戦が繰り広げられました。

8月21日は、旧役犬原小学校で火の山旗ゲートボール大会が行われ、大分県や宮崎県、熊本市などから50チーム約250人が参加しました。

阿蘇市内からも24チーム120人が参加。炎天下の中、選手との交流と親睦を深めながら競技に臨みました。事務局の高島惟次さんは「遠方から来る人は、阿蘇のことを知らない人も多い。大会を通じて阿蘇を知るきっかけになれば」と大会にかける熱い思いを語りました。